



「人・地球・環境」への貢献

2018年3月期 第1四半期 決算説明資料



(アスファルトプラント/福島県)

2018年3月期 第1四半期 決算説明資料

- ▶ 決算実績サマリー …1
- ▶ 売上高と営業利益の推移 …2
- ▶ セグメント別売上高・営業利益 …3
- ▶ 経常利益増減要因分析 …4
- ▶ 財政状態の分析 …5
- ▶ 各事業セグメント毎の状況 …6-9
- ▶ セグメント別利益予想、配当金、設備投資…10
- ▶ 配当金推移 …11



(コンクリートプラント/埼玉県)

2018年3月期 第1四半期 決算実績サマリー

(百万円)

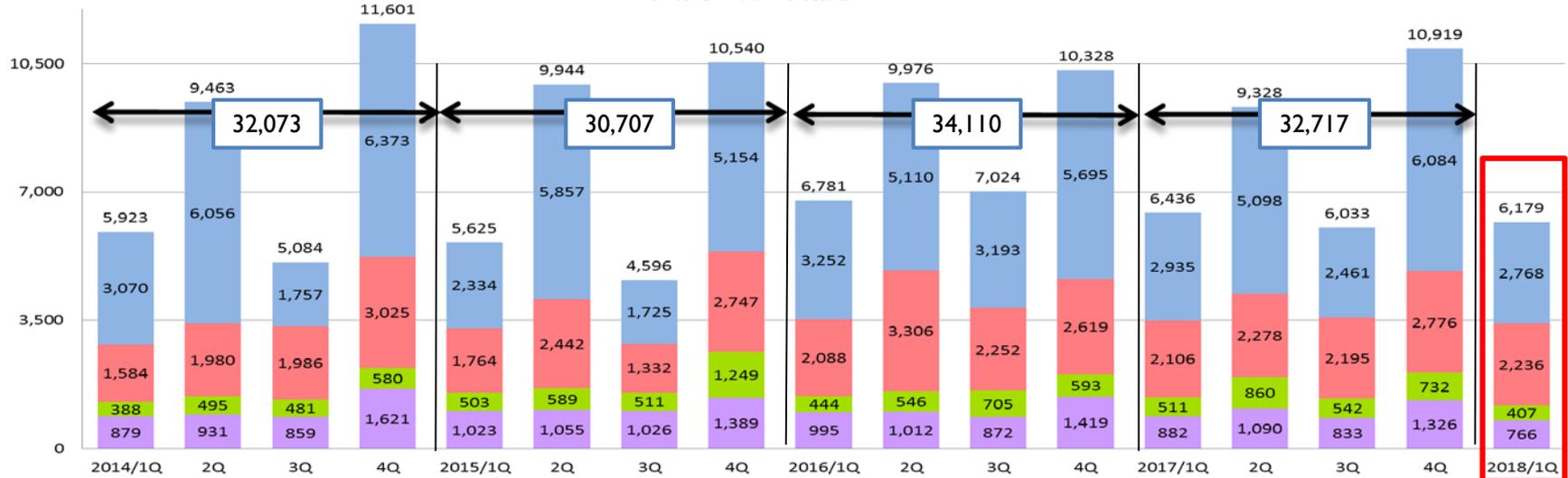
	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	<u>決算のポイント</u> <u>(前年同期比)</u>
売上高	6,436	6,179	▲ 256	<p>【売上高】 AP：製品は前期比増加したが、サービスは減少。 前期比▲167百万 BP：製品、サービスともに前期比増加。 前期比+130百万 環境・搬送製品：前期比▲103百万 その他事業：前期比：▲116百万 尚、受注残高は中国での受注が増加したため、前期比増加。</p>
営業利益	112	48	▲ 64	<p>【営業利益】 売上高の減少に加え、原価率が0.9%悪化したために減益。</p>
経常利益	187	161	▲ 25	<p>【経常利益】 営業外損益は、受取配当金の増加、為替差損がなくなる等で前年度比39百万改善するが、営業利益の減益分をカバーできず。前期比▲25百万</p>
当期純利益	124	182	+57	<p>【当期純利益】 特別利益として投資有価証券売却益、環境対策引当金戻入額等を計上したため、当期純利益は増加。</p>

2018年3月期 第1四半期 売上高と営業利益の推移

■ アスファルトプラント関連事業 ■ コンクリートプラント関連事業 ■ 環境及び搬送関連事業 ■ その他事業

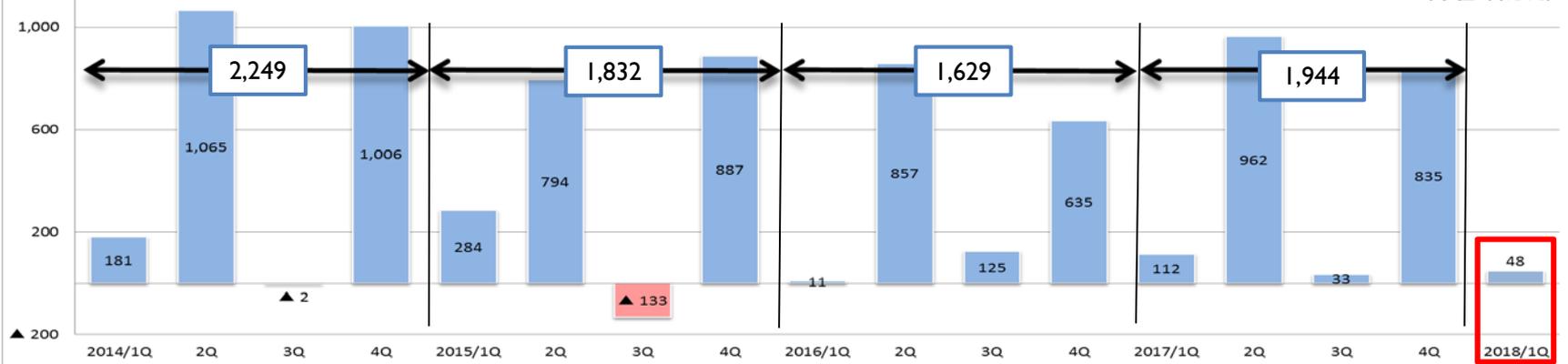
(単位: 百万円)

四半期毎の売上高推移



四半期毎の営業利益推移

(単位: 百万円)

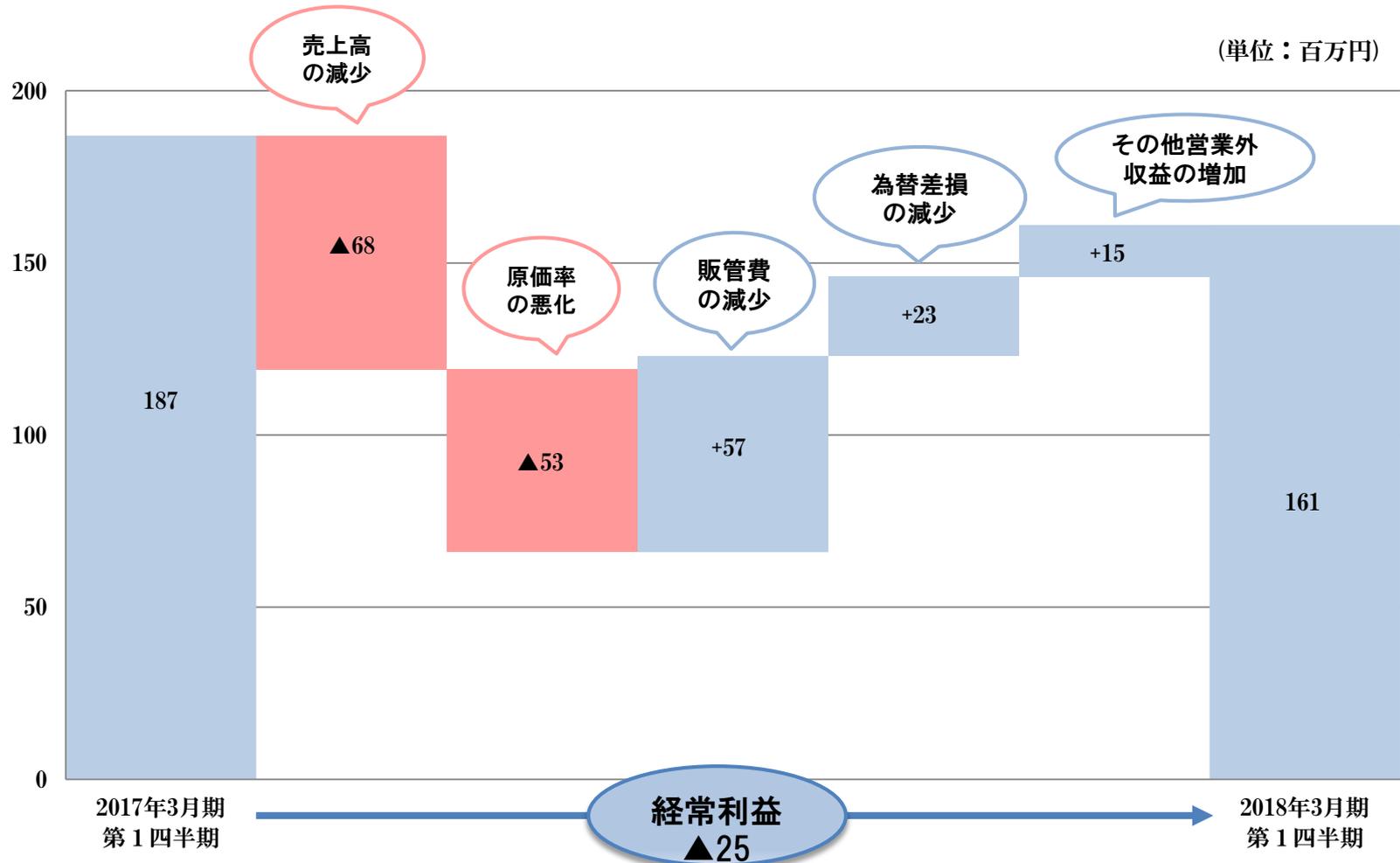


2018年3月期 第1四半期 セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	第1四半期			第1四半期		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
■ アスファルトプラント 関連事業	2,935	2,768	▲167 (▲ 5.7%)	103	100	▲3 (▲ 2.9%)
■ コンクリートプラント 関連事業	2,106	2,236	+130 (+6.2%)	113	145	+31 (+28.0%)
■ 環境及び搬送 関連事業	511	407	▲103 (▲ 20.3%)	76	24	▲51 (▲ 67.4%)
■ その他事業	882	766	▲116 (▲ 13.2%)	55	22	▲33 (▲ 60.4%)
全社費用	-	-	-	▲ 236	▲ 244	-
合計	6,436	6,179	▲256 (▲ 4.0%)	112	48	▲64 (▲ 57.2%)

2018年3月期 第1四半期 経常利益 増減要因分析



2018年3月期 第1四半期 財政状態の分析

(単位:百万円)

連結貸借対照表		2017年3月期	2018年3月期 第1四半期	増減	主な変動要因
資産	流動資産	30,764	31,160	+395	現金及び預金▲508 受取手形及び売掛金▲982 たな卸資産+2,015
	有形固定資産	5,206	5,130	▲75	投資有価証券+339
	無形固定資産	331	328	▲2	
	投資その他	8,673	9,008	+334	
総資産合計		44,976	45,627	+651	
負債	流動負債	12,494	12,788	+294	未払法人税等▲572
	固定負債	3,392	3,531	+139	未払金+485
純資産合計		29,089	29,307	+217	当期純利益+182 配当金▲232 その他有価証券評価差額金+312
自己資本比率(%)		64.7	64.2	▲0.4	
D/E レシオ(倍)		0.07	0.07	▲0.00	
1株当たり純資産(円 銭)		3,746.35	3,774.39	+28.04	

各事業セグメント毎の状況

アスファルトプラント関連事業

●セグメントの概要

アスファルトプラントの製造・販売・メンテナンスサービス。
販売先は主に国内の大手道路会社、及び海外各地区道路会社等。

●国内製品の売上高は前期を上回るが、サービスは売上減。

売上は前期を下回るが、営業利益はほぼ横ばい。受注が好調な中国は、例年同様第1四半期での製品の売上はゼロ。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	前期比
売上高	2,935	2,768	▲167 (▲5.7%)
構成比率			▲0.8%
営業利益	103	100	▲3 (▲2.9%)
営業利益率	3.5%	3.6%	+0.1%



【NAP.ABD-1000MBA+NRU.
TOP α 45-30ADF+AZU120】

福島県

コンパクトな省エネ型プラントでありながら、生産能力が高く多彩なオーダーに対応が可能です。全面外装など環境面にも充分に配慮しております。



【NCDP-80MMH(破碎設備)】

静岡県

アスファルト廃材・コンクリート廃材のどちらを破碎する事にも高い能力を発揮し、建屋・局所集塵機・散水装置等で環境にも十分配慮した破碎設備となっております。

各事業セグメント毎の状況 コンクリートプラント関連事業

●セグメントの概要

コンクリートプラントの製造・販売・メンテナンスサービス及びコンクリートポンプ車の製造・販売。販売先は主に国内の生コン工場。



【DASH-H225Evo
3150R-ITBR】
福井県

北陸新幹線工場の生コンクリート需要に備え工場を新設し、弊社バッチャープラントをご採用いただきました。セメント取扱い種類も増やし多品種のコンクリートに対応しています。



【DASH-H1672C60
T-ITBR】
千葉県

建築構造部材や土木セグメント等、コンクリート二次製品の製造設備として新工場を建設し最新機種DASH-Hyperミキサを2基搭載したバッチャープラントを採用頂きました。

●製品、サービス共に売上・利益増。

受注残を順調にこなし、売上・利益ともに増加。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	前期比
売上高	2,106	2,236	+130 (+6.2%)
構成比率			+3.5%
営業利益	113	145	+31 (+28.0%)
営業利益率	5.4%	6.5%	+1.1%

各事業セグメント毎の状況

環境及び搬送関連事業

●セグメントの概要

ベルトコンベヤの製造・販売。空き缶、ペットボトル選別等の環境関連製品の製造・販売。

●環境製品、搬送関連事業ともに売上・利益減。

- ・環境製品は前期同様大型物件なし。
- ・搬送関連事業は、前期比売上・利益ともに減少。



【石炭灰造粒プラント】
福島県

火力発電所で発生する石炭灰を、道路工事などで使用する人工地盤材として再利用するための中間処理施設です。年間約12万トンの人工地盤材を生産する計画となっております。



【リサイクル4
+SMA60TE20】
東京都

日工の環境製品『缶ビン選別圧縮装置リサイクル4』は、自治体・物流倉庫・廃棄物処理業者様へ幅広くご利用いただいております。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	前期比
売上高	511	407	▲103 (▲20.3%)
構成比率	7.9%	6.6%	▲1.4%
営業利益	76	24	▲51 (▲67.4%)
営業利益率	14.9%	6.1%	▲8.8%

各事業セグメント毎の状況 その他事業

●セグメントの概要

仮設機材、ショベル等土農工具、水門、破碎機等の製造販売。

●破碎機が好調に推移。

- ・仮設機材、土農工具、水門の売上・利益は減少。
- ・一方で、破碎機の売上・利益は大きく伸長。

単管選別システム 全体写真



【単管ケレン選別システム】

広島県

連結子会社 日工セック(株)

現場から返却された単管パイプをケレン研掃し、長さ毎に選別後、所定のストック架台に搬入までを自動ラインで行い、各サイズ50本毎にフォークリフトで取り出せる様にする設備です。



【タウンガード 脱着式防水板】

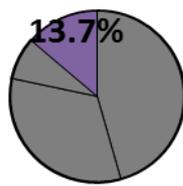
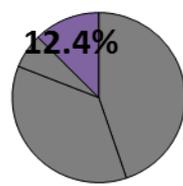
東京都

連結子会社日工マシナリー(株)

ゲリラ豪雨等の企業の自然災害に対するBCP(事業継続計画)の一環として、ハザードマップに照らして止水高さ600mmにて出入口13ヶ所に防水板を設置いたしました。



(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	前期比
売上高	882	766	▲116 (▲13.2%)
構成比率			▲1.3%
営業利益	55	22	▲33 (▲60.4%)
営業利益率	6.2%	2.9%	▲3.4%

2018年3月期 第1四半期 セグメント別利益予想、配当金、設備投資

(単位：百万円)

	売上高				営業利益 (営業利益率)			
	2017年 3月期	2018年3月期			2017年 3月期	2018年3月期		
		通期予想	1Q実績	達成率		通期予想	1Q実績	達成率
アスファルトプラント 関連事業	16,580	17,700	2,768	15.6%	1,253 (7.6%)	1,400 (7.9%)	100 (3.6%)	7.1% -
コンクリートプラント 関連事業	9,356	9,200	2,236	24.3%	1,006 (10.8%)	900 (9.8%)	145 (6.5%)	16.1% -
環境及び搬送 関連事業	2,647	3,500	407	11.6%	369 (13.9%)	450 (12.9%)	24 (5.9%)	5.3% -
その他事業	4,133	4,100	766	18.7%	417 (10.1%)	450 (11.0%)	22 (2.9%)	4.9% -
全社費用	-	-	-	-	▲ 1,102	▲ 1,100	▲ 244	22.2%
合計	32,717	34,500	6,179	17.9%	1,944 (5.9%)	2,100 (6.1%)	+48 (0.8%)	2.3% -

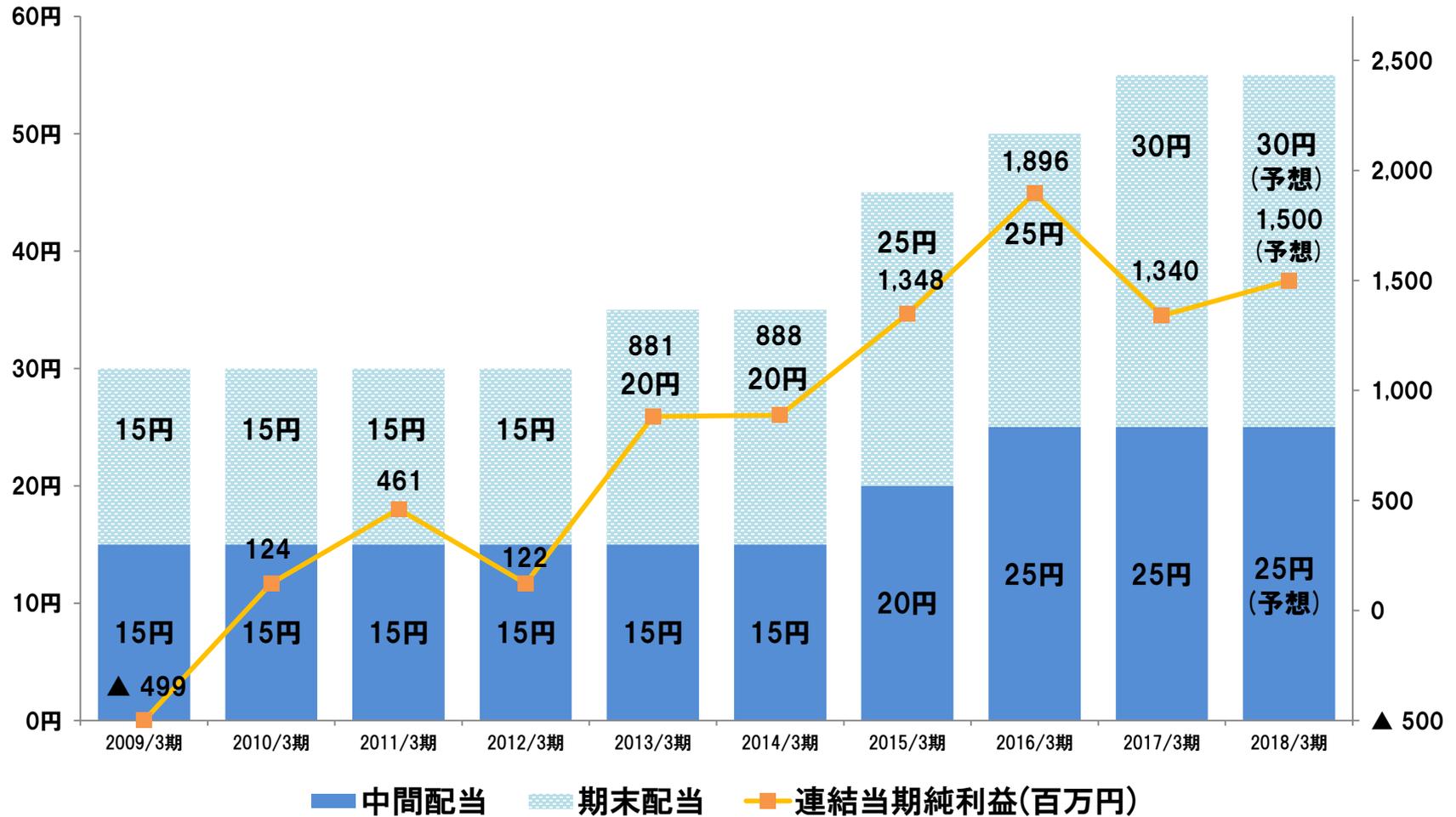
()のパーセンテージは営業利益率を示しております。

1株当たり配当金	2017年3月期		2018年3月期(予想)	
	中間	※ 25.00 円	中間	25.00 円
期末	30.00 円	期末	30.00 円	
年間	55.00 円	年間	55.00 円	

※ 株式併合後の金額に置き直して記載しております。

	2017年3月期(通期実績)	2018年3月期(通期予想)
減価償却費	482百万円	485百万円
設備投資額	1,261百万円	1,200百万円
為替レート:US\$	112.19円	111.36円
為替レート:EUR	119.84円	124.20円

配当金推移



※株式併合後の金額に置き直して記載しております。



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみを依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。